

# まちづくりに関する町民アンケート調査結果

## 調査の概要

### (1) 調査目的

2015年に策定した「秩父別町まち・ひと・しごと総合戦略」(2015～2019年度の5か年計画)の基本目標として設定している「住みよい町と感じている人」の実績値の取得および次期総合戦略(2020年～2024年度の5か年計画)策定にあたっての参考資料とするためアンケート調査を実施した。

### (2) 調査対象者と回収結果

調査対象者	配付数	回答数	回答率
18歳以上の町民	324	146	45.1%
	男性 162	67	41.4%
	女性 162	79	48.8%

原則町職員世帯を除いて配布。(一部若い年代に限り、職員を対象とした)

### (3) 調査期間と調査方法

令和元年7月22日～8月9日を調査期間とし、郵送により配布・回収した。

### (4) その他

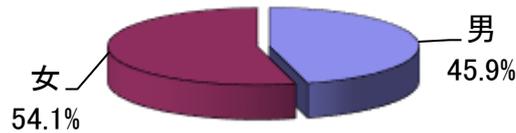
端数処理により、グラフの合計が100%にならない箇所や選択肢を省略して表示しているグラフがある。

# 1. 回答者の状況

## 問1-①性別

女性の割合が1割程度多くなっている。

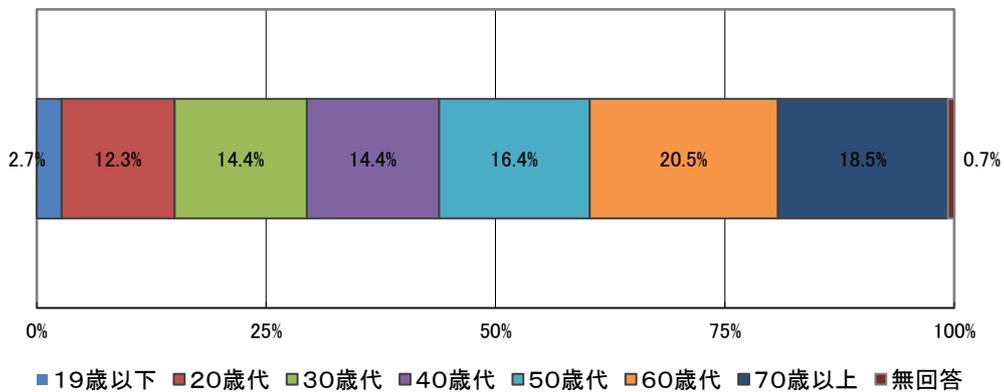
問1① 性別[%]



## 問1-②年齢

18歳以上19歳以下の人口が少ないため回答者の割合が少なくなっている。

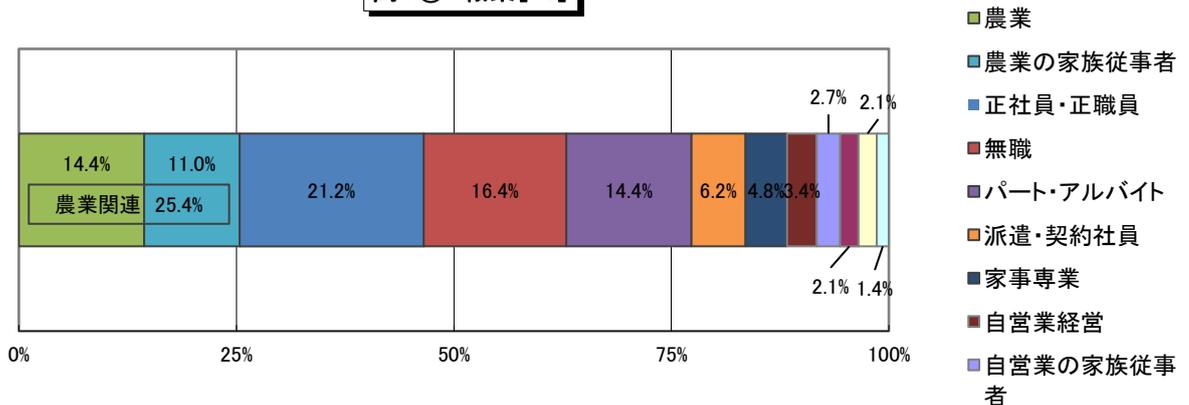
問1② 年齢[%]



## 問1-③職業

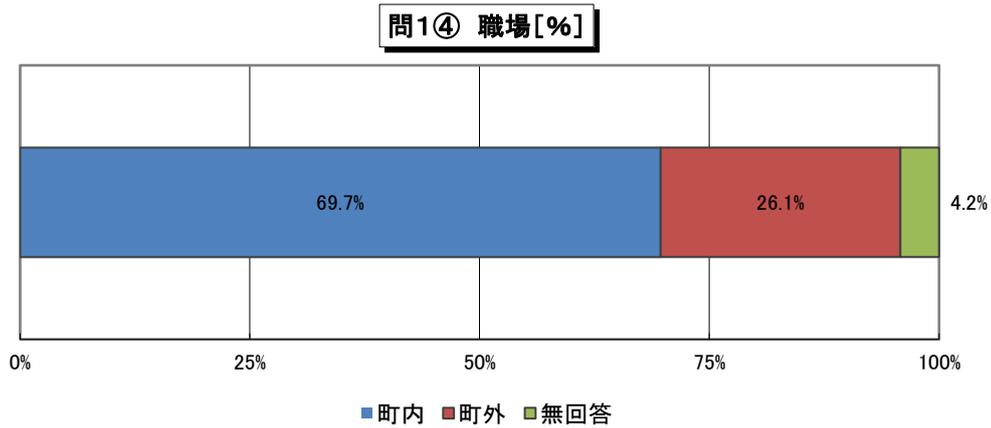
農業及び農業家族従事者の合計が25.4%、正社員・正職員が21.2%と多くなっている。

問1③ 職業[%]



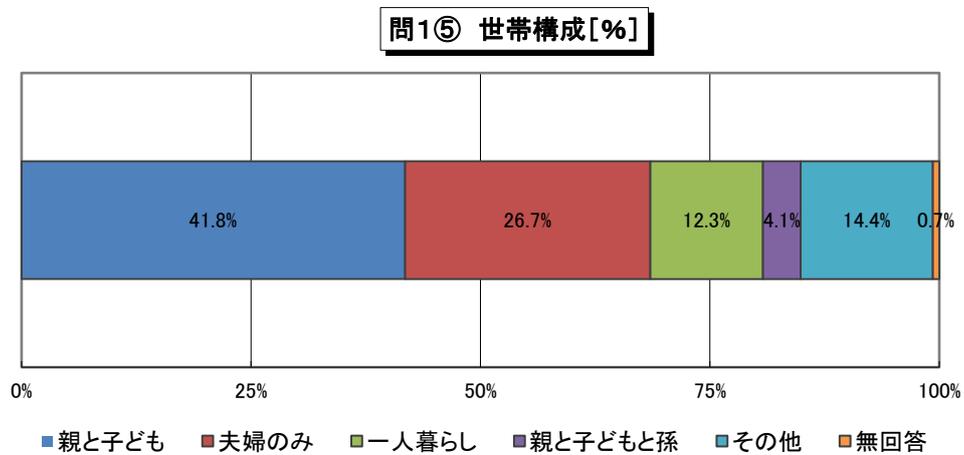
### 問1-④職場

町内が7割、町外が3割弱となっている。



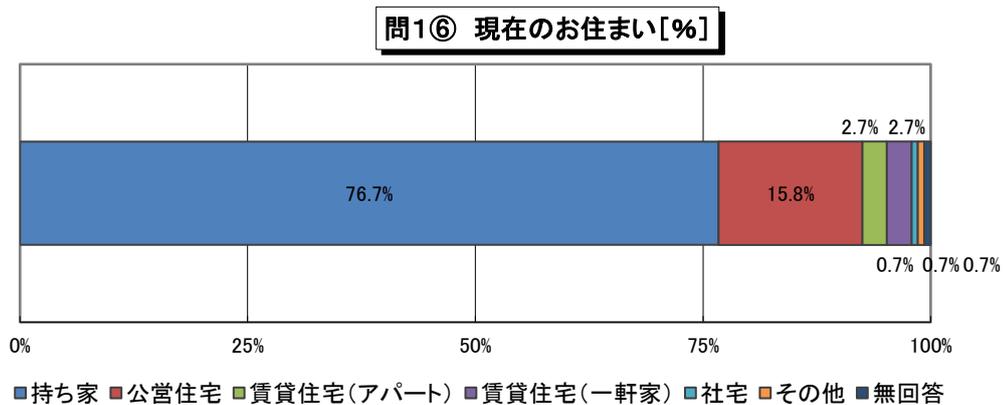
### 問1-⑤世帯構成

親と子どもや夫婦のみの核家族が多くを占め、多世代家族は少数である。



### 問1-⑥現在のお住まい

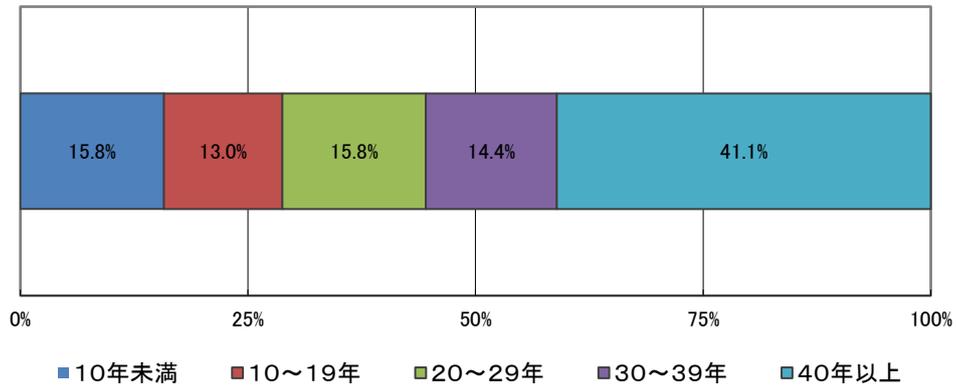
持ち家が8割弱と多い。



### 問1-⑦居住年数

40年以上居住している回答者が4割を超える。

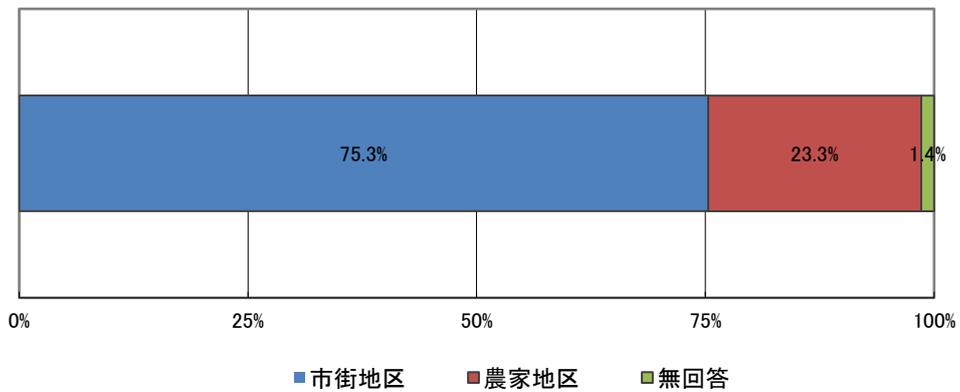
問1⑦ 居住年数[%]



### 問1-⑧居住区

市街地に居住している回答者が7割を超えている。

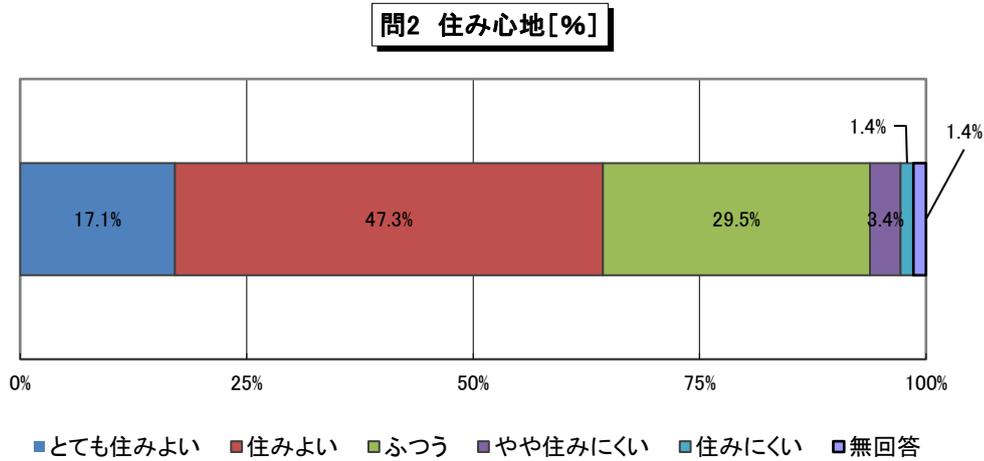
問1⑧ 居住区[%]



## 2. 住み心地と居留意向

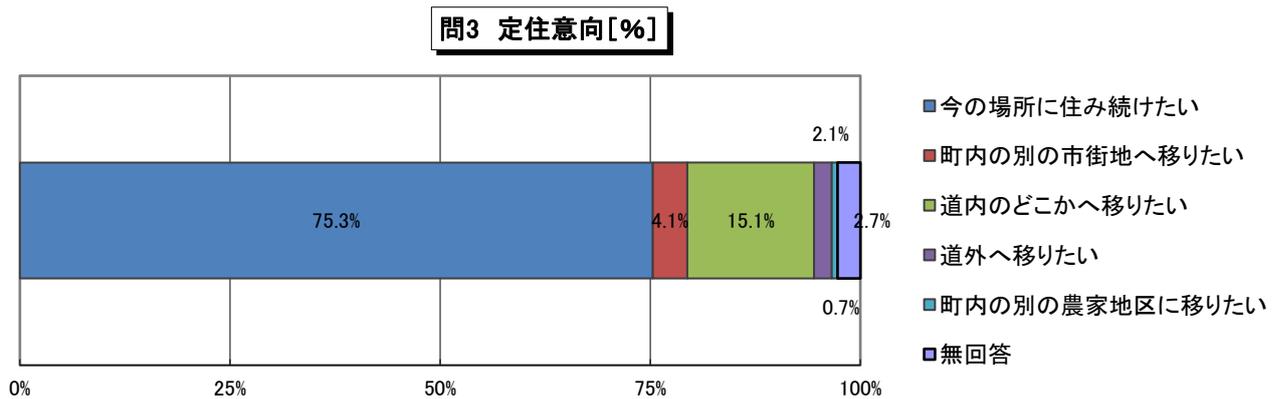
### 問2 住み心地

「とても住みよい、住みよい」と感じている回答者は6割を越えている。また、「住みにくい、やや住みにくい」は5%未満と少ない。



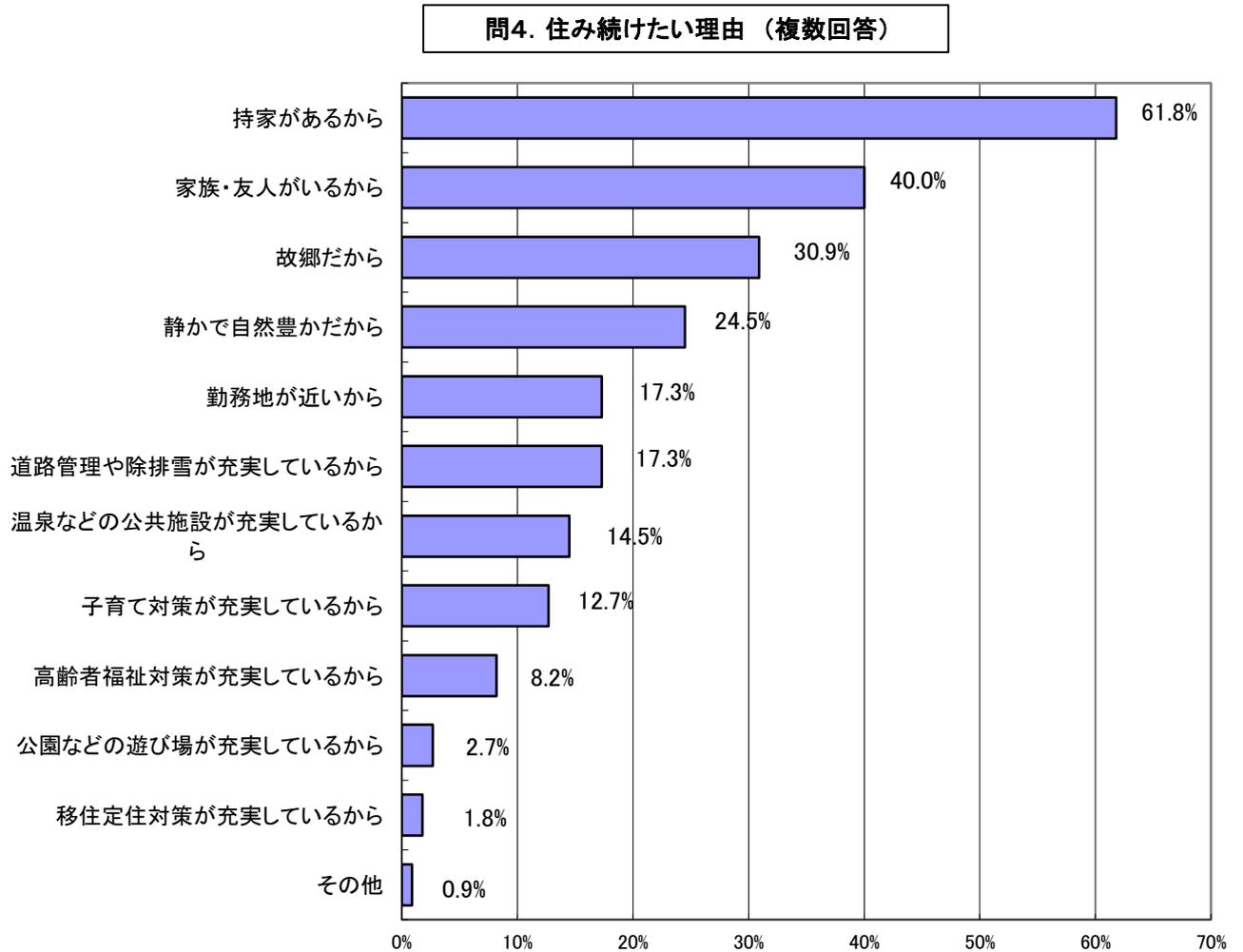
### 問3 居留意向

前問の住み心地に関する回答と関連し、「今の場所に住み続けたい」という回答が8割近く、町外へ移住意向のある回答者は2割未満となっている。



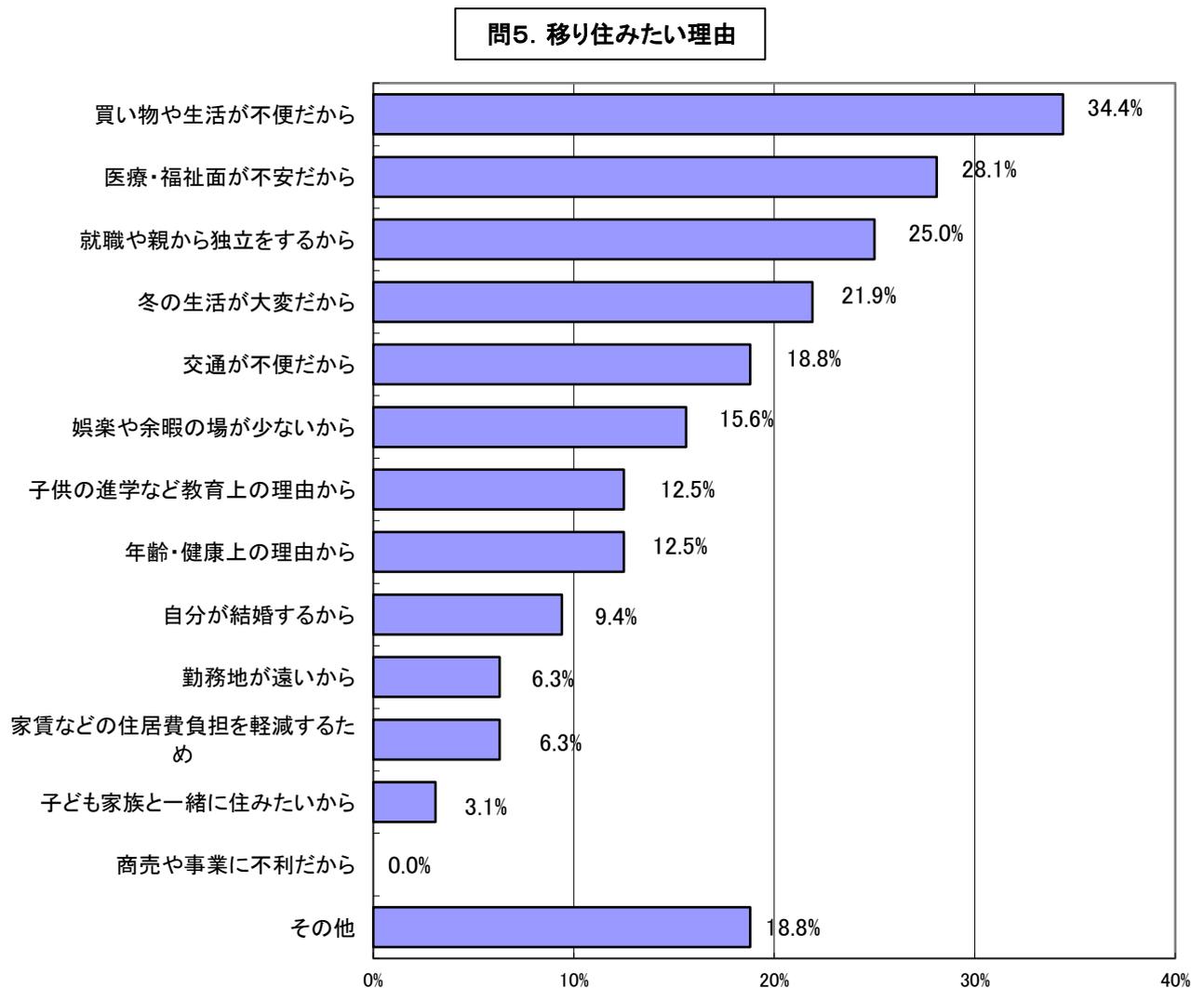
#### 問4 住み続けたい理由

「持ち家があるから」が最も多く、「家族・友人がいるから」、「故郷だから」の順に多くなっている。「高齢者福祉対策」や「子育て対策」など行政の施策面を理由とする割合は少ない。



## 問5 移り住みたい理由

「買い物や生活が不便だから」と「医療・福祉面が不安だから」が多い。



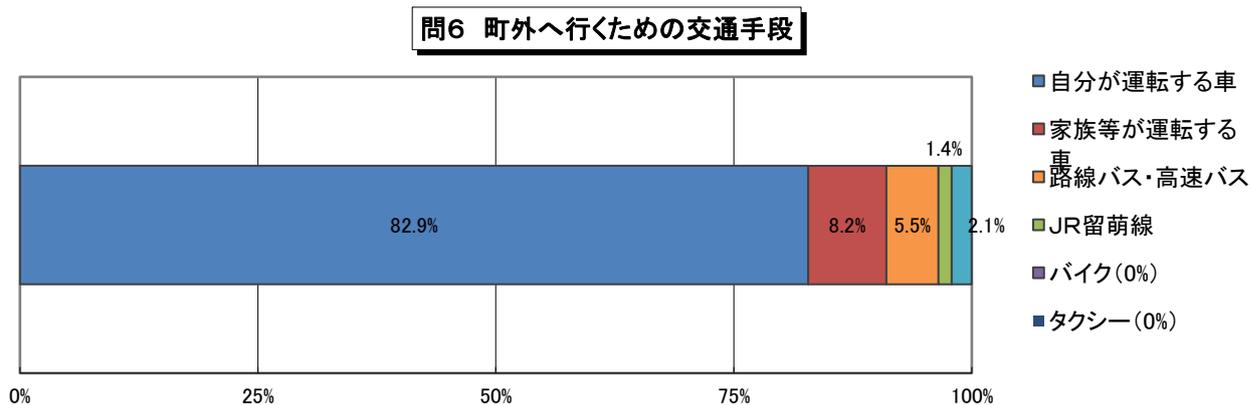
### 【その他】

- ・雪が多すぎるから
- ・雪の少ない地域に行きたいです。
- ・一軒家がほしいので雪のないところに行く
- ・持ち家を持ちたい

### 3. 町外への交通手段

#### 問6 町外へ行くために普段使う交通手段

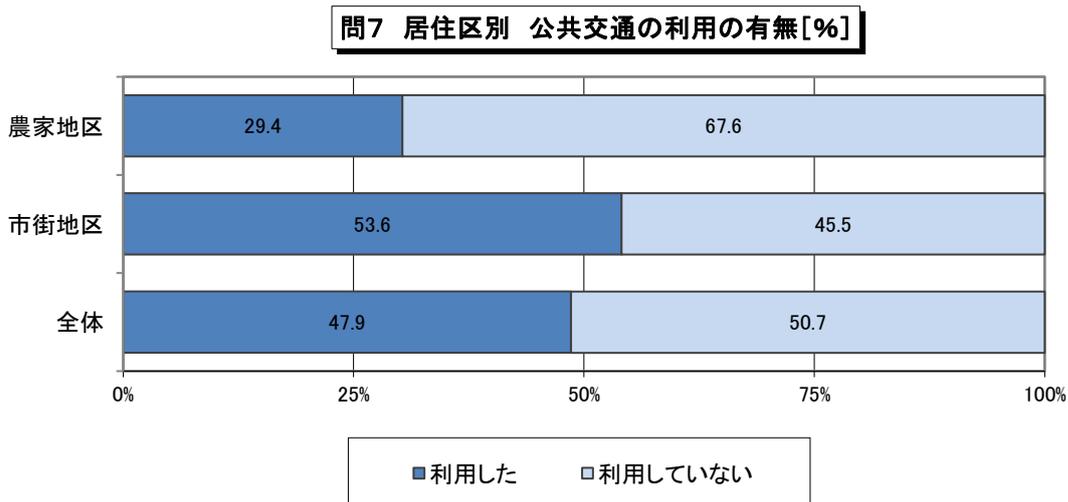
「自分が運転する車」が多く8割を超えている。バスやJRの「公共交通機関」は6.9%と少ない。



#### 問7 過去1年間の公共交通機関利用の有無

公共交通機関を一度も利用していない回答者は5割を超えている。

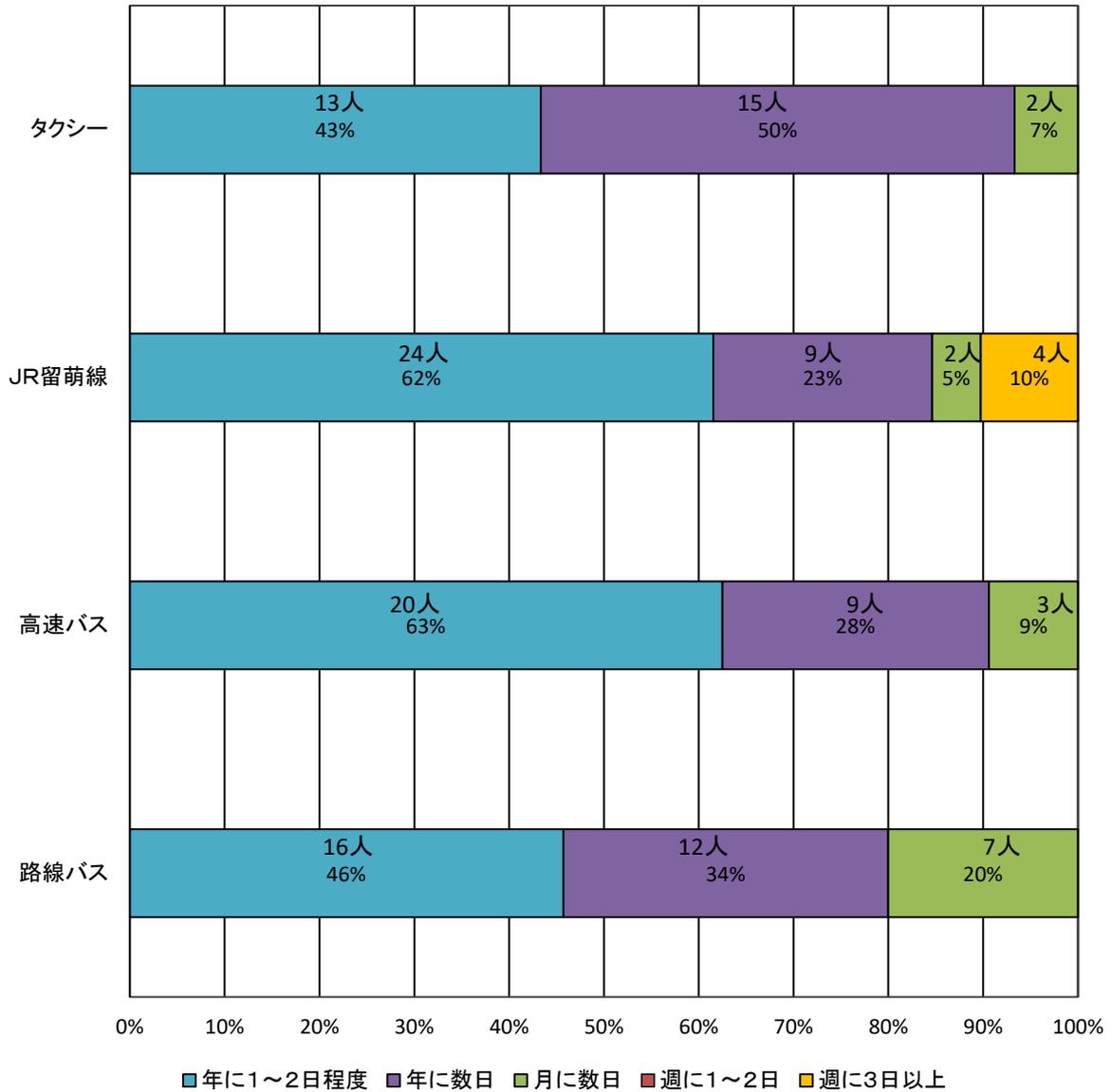
利用していない人の割合は市街地区よりも農家地区の方が高く、6割を超えている。



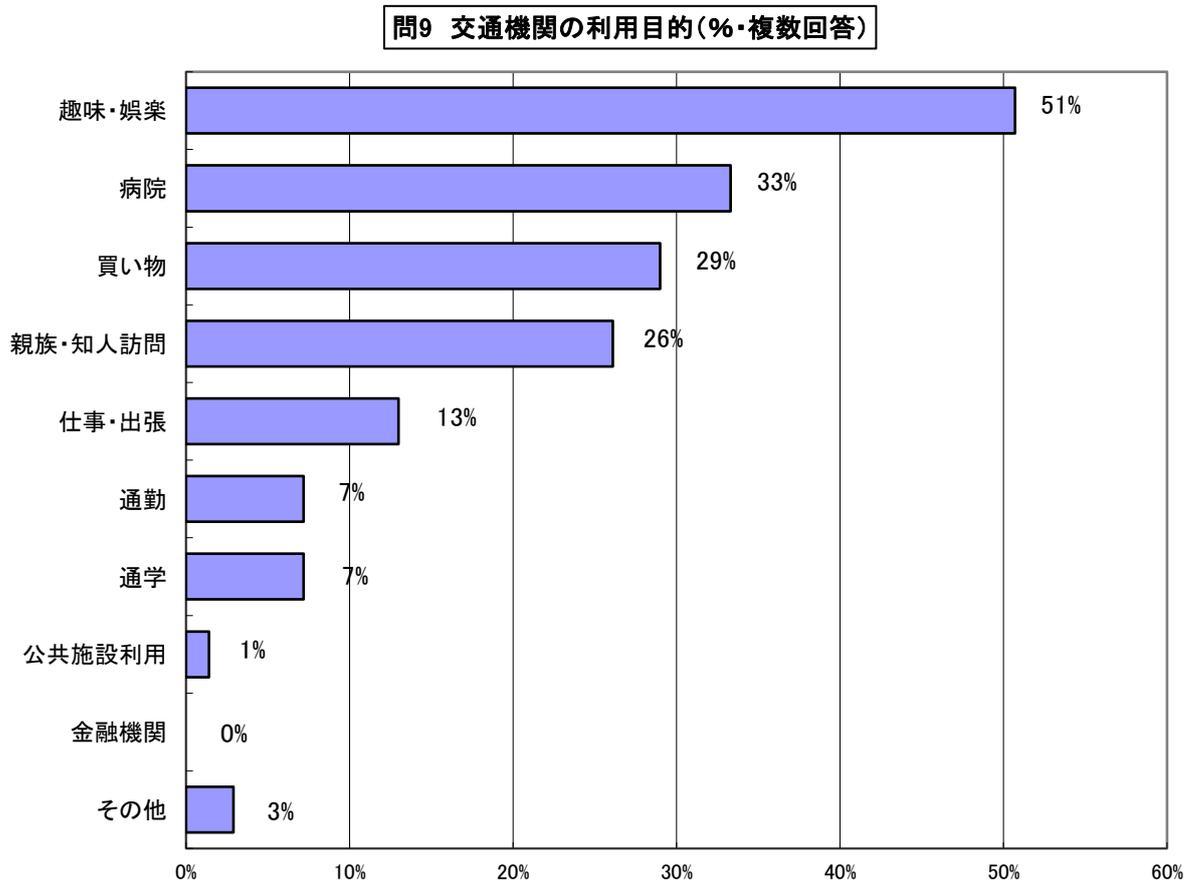
### 問8 交通機関の利用頻度（問7で利用したと回答した方）

公共交通機関の利用頻度は、タクシーは「年に数日」、JR留萌線、高速バス、路線バスでは「年に1～2日程度」が多い。JR留萌線を除く交通機関では、「週に1～2日」以上利用している回答者は0%だった。

問8 交通機関の利用頻度〔%・複数回答〕



**問9 利用目的（問7で利用したと回答した方）**  
「趣味・娯楽」目的や「病院」、「買い物」目的の利用が多い。

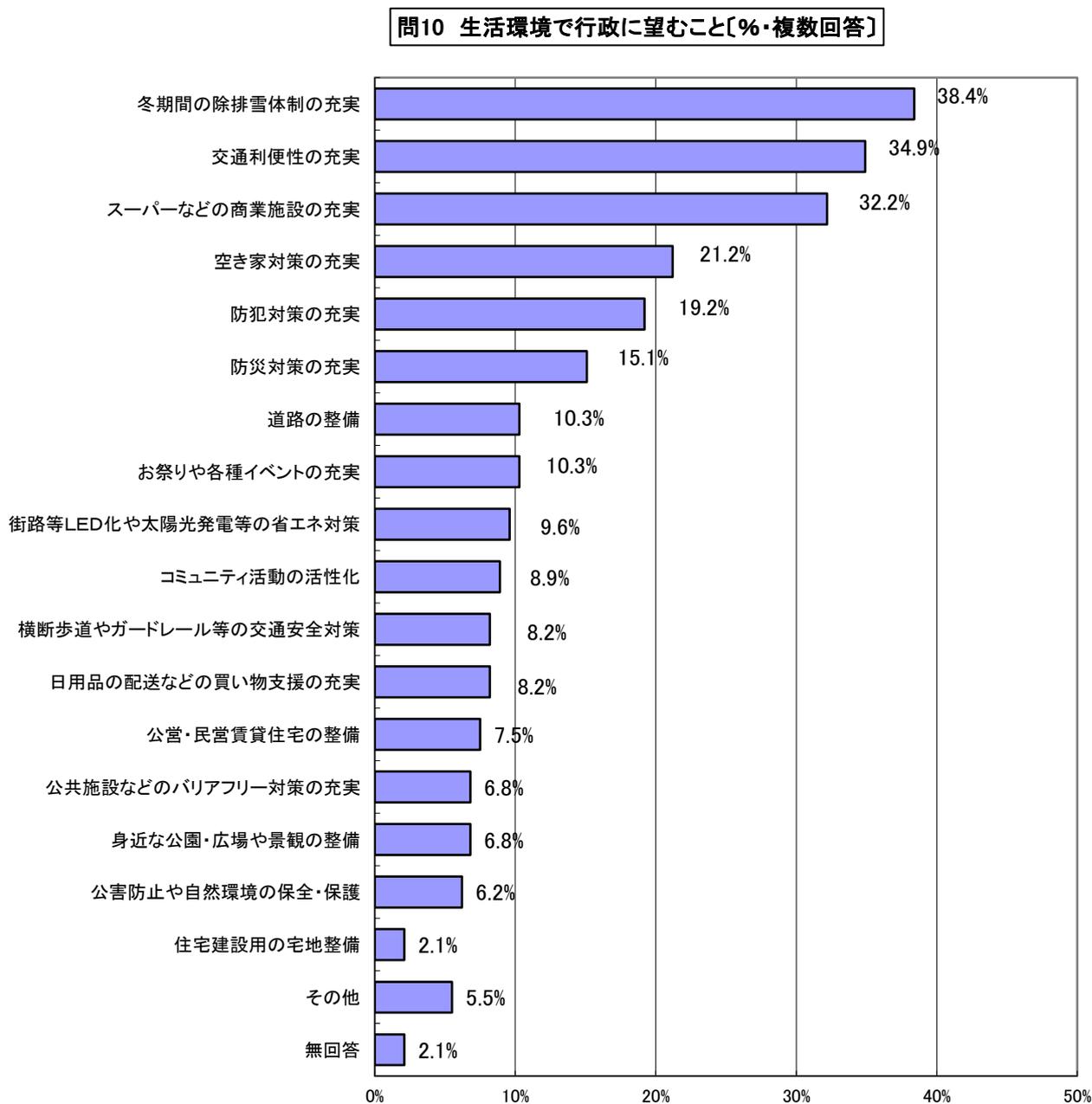


【その他】  
・JR深川駅から乗車するため路線バスを使用

## 4. 各分野のまちづくりの取り組みについて

### 問10 生活環境で行政に望むこと

もっとも多いのは「冬期間の除排雪体制の充実」で、以下「交通利便性の充実」、「スーパーなどの商業施設の充実」と続く。



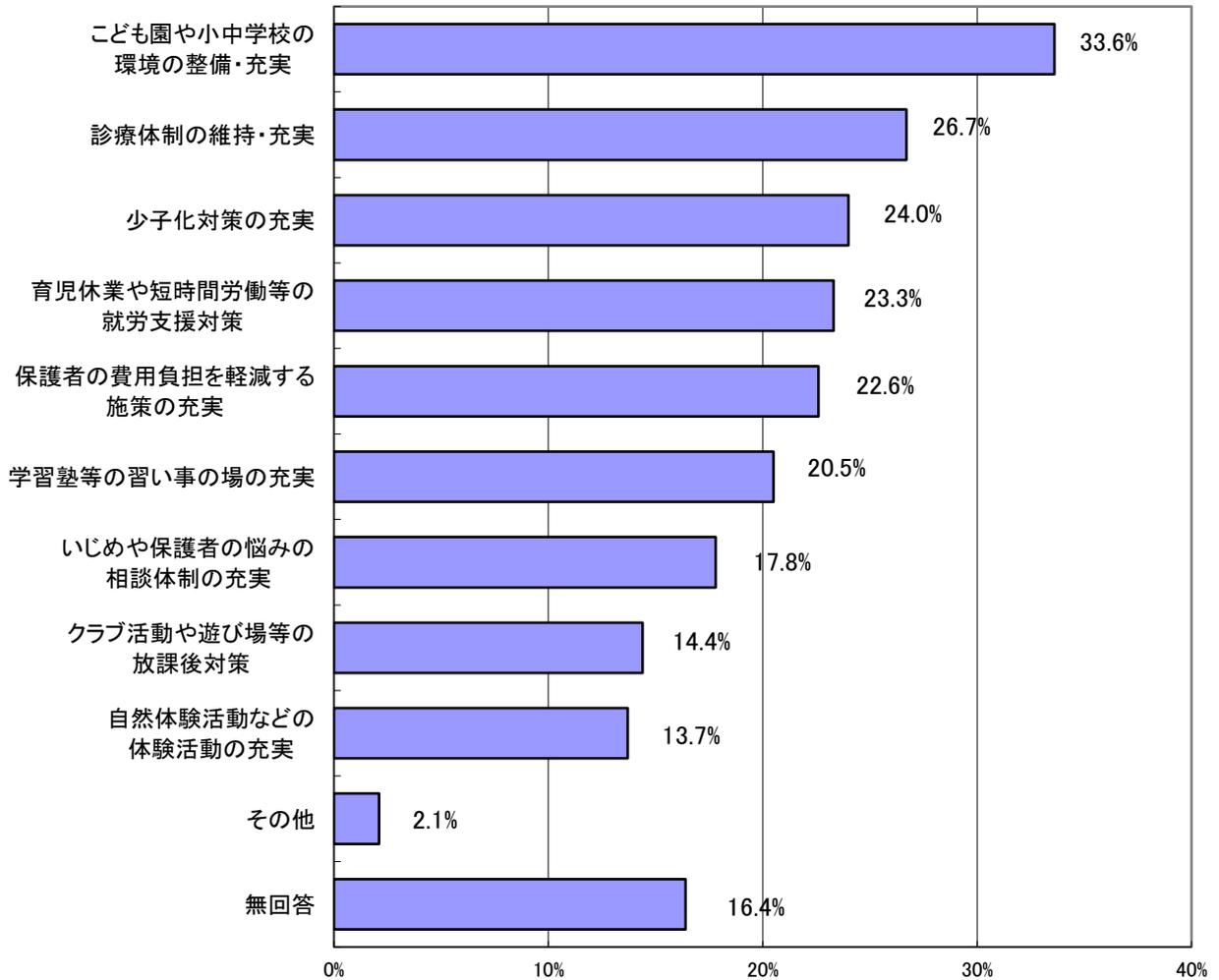
#### 【その他】

- ・町内放送が聞こえない
- ・道の駅の充実、名産の充実
- ・空き地の草刈り、指導・徹底。タンポポの群生が迷惑なので
- ・スポセンのエレベーターの設置、足の悪い人は文化祭など2階の展示物が見られません。
- ・飲食店の充実
- ・診療所における信頼度の高い医療提供を強く望む
- ・老人福祉センター調理場の改築

## 問11 子育て対策として行政に望むこと

「こども園や小中学校の環境の整備・充実」が最も高く、次いで「診療体制の維持・充実」、「少子化対策の充実」となっている。

問11 子育て対策として行政に望むこと[%・複数回答]



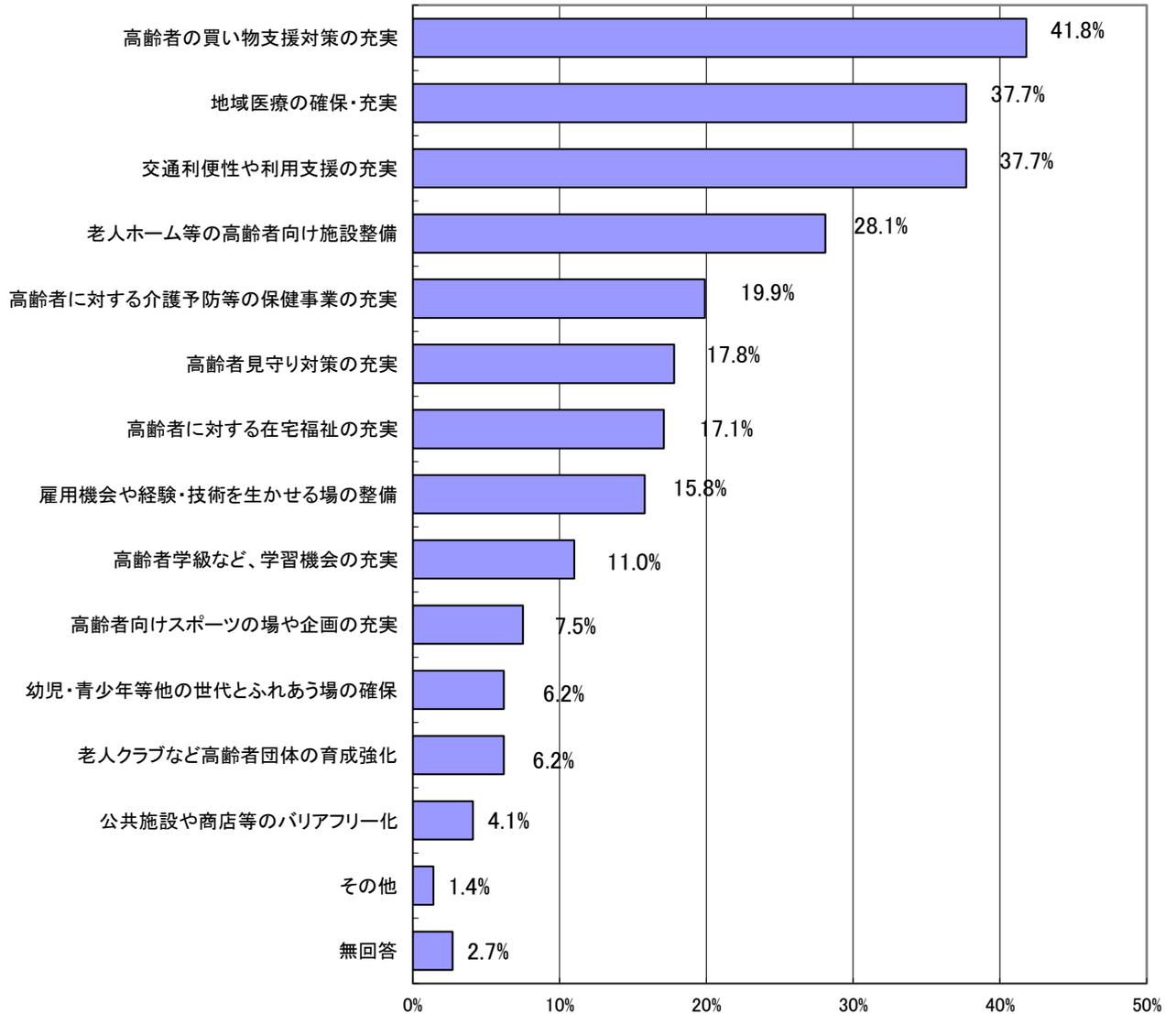
### 【その他】

- ・1人なので特に思うことがない
- ・子育てが終わっているので答えられない

## 問12 お年寄りの方が健康で生きがいを持ち充実した生活を送るために必要なこと

「高齢者の買物支援対策の充実」が最も高く、次いで「地域医療の確保・充実」、「交通利便性や利用支援の充実」となっている。

問12 高齢者の生活充実のため行政に望むこと[%・複数回答]



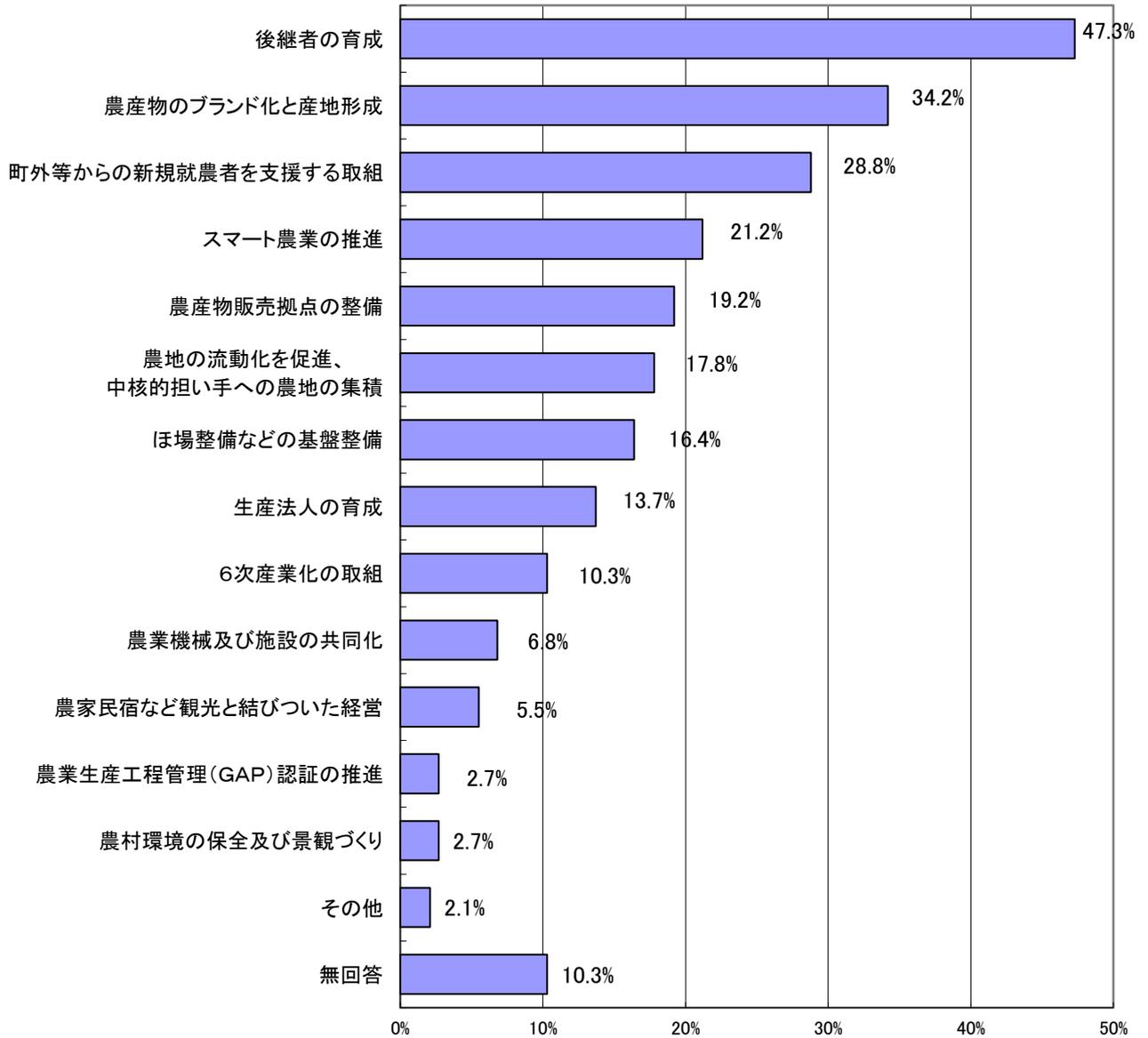
### 【その他】

- ・全部必要
- ・除雪を平等にしてほしい

### 問13 農業振興のため行政に望むこと

「後継者の育成」が最も高く5割近くになっている。次いで「農産物のブランド化と産地形成」、「町外等からの新規就農者を支援する取組」となっている。

問13 農業振興のため行政に望むこと(%・複数回答)



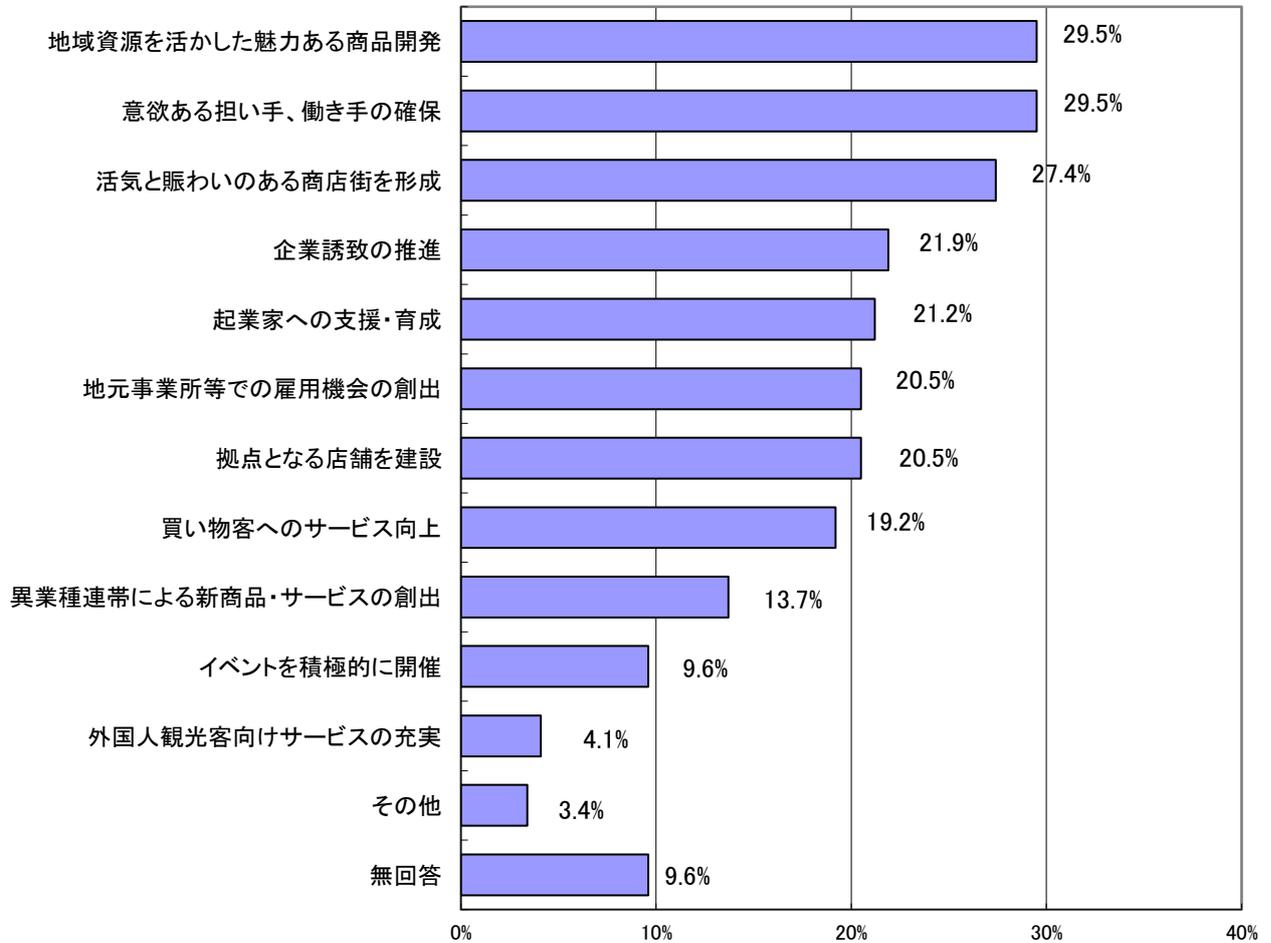
#### 【その他】

- ・町外からの嫁を募集
- ・秩父別のお米がおいしいということをアピール。北空知の他の市町はアピールしているように思います。
- ・仕事が違うのでわからない

## 問14 商工業の振興について行政に望むこと

「地域資源を生かした魅力ある商品開発」、「意欲ある担い手、働き手の確保」、「活気と賑わいのある商店街を形成」が高くなっている。

問14 商工業の振興について行政に望むこと(%・複数回答)



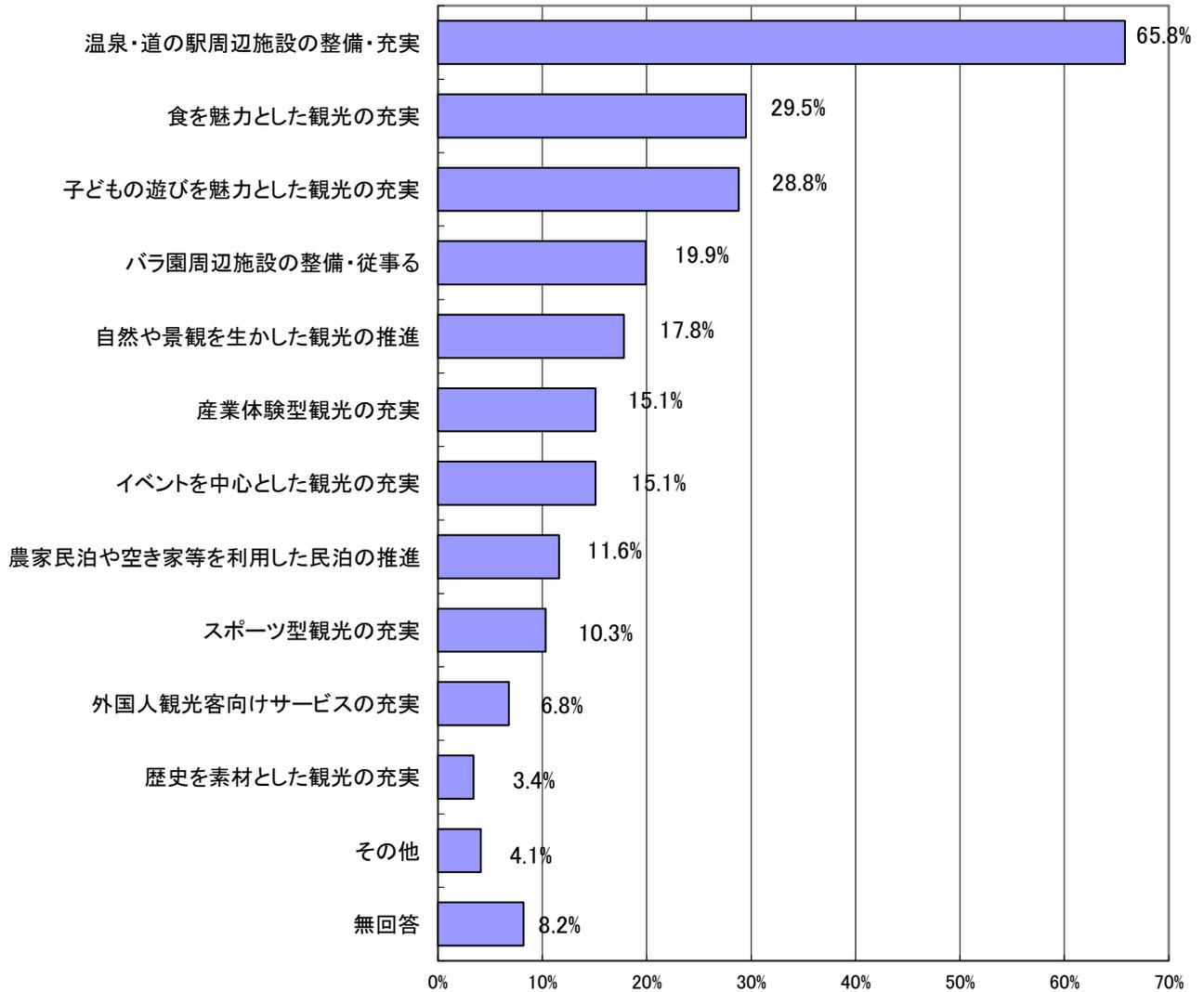
### 【その他】

- ・何も期待していない
- ・大型駐車場をふまえた商店街の集合施設
- ・農家をやる気にさせる
- ・夏季のキャンプ場が混む時期にじゃらんに乗るようなイベントをすると更に秩父別町は盛り上がると思います。
- ・(観光施設に)インスタスポットなどがあるといいと思います。
- ・振興は望めない

## 問15 観光振興について

「温泉・道の駅周辺施設の整備・充実」が最も高く6割を超えている。次いで「職を魅力とした観光の充実」、「子どもの遊びを魅力とした観光の充実」となっている。

問15 観光振興で今後必要なこと(%・複数回答)



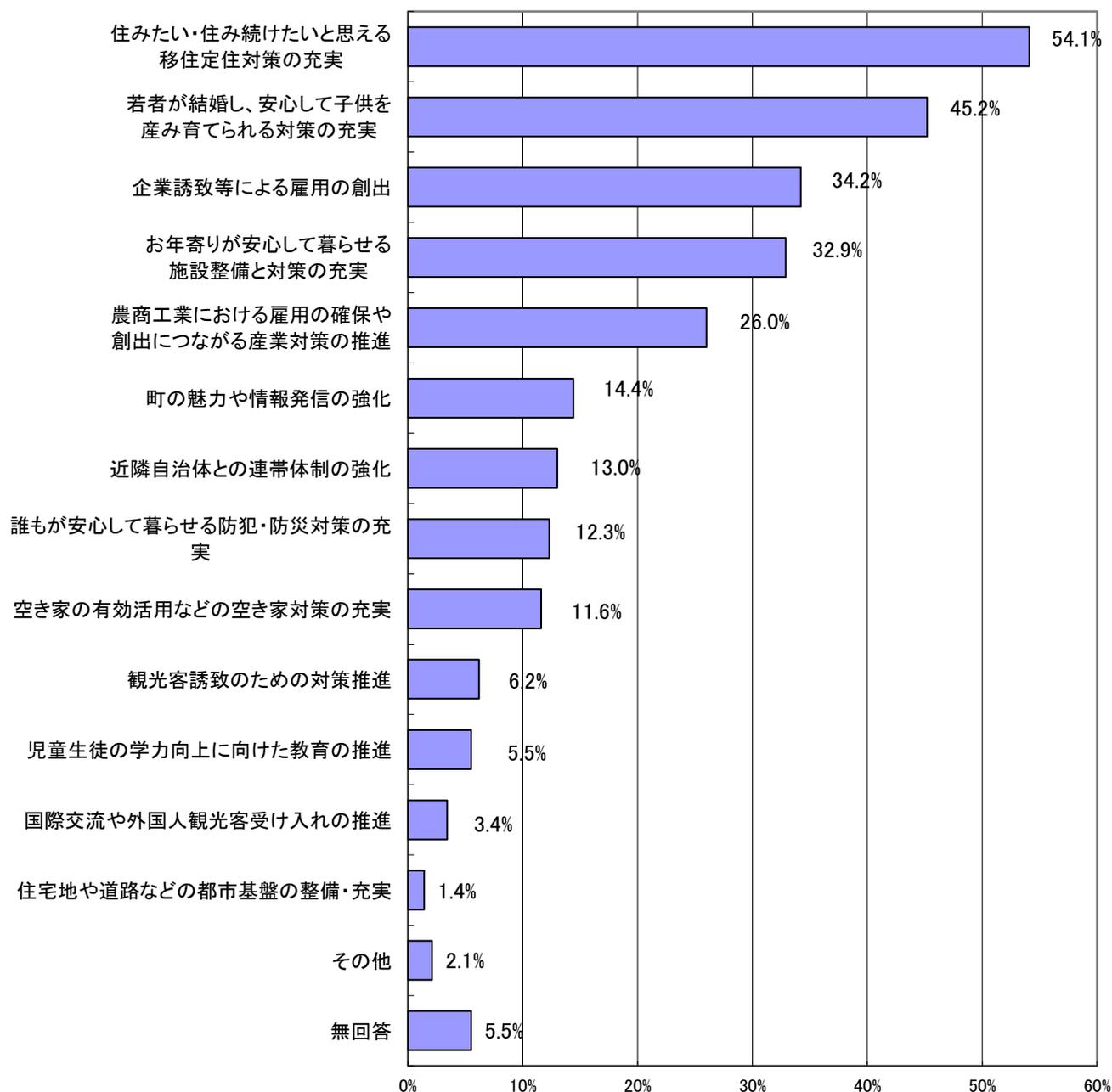
### 【その他】

- ・国道などの景観の改善。古い家屋の美観対策
- ・元「冒険の森」のキャンプ場への改造
- ・今のイベント(とんでんまつり等)の活性化
- ・手軽なお土産があると嬉しいです。ボールペンとかクリアファイルとか
- ・現状でよい

## 問16 人口減少問題対策

「住みたい・住み続けたいと思える移住定住対策の充実」が最も高く5割を超えている。次いで、「若者が結婚し、安心して子どもを産み育てられる対策の充実」が4割超、「企業誘致等による雇用の創出」、「お年寄りが安心して暮らせる施設整備と対策の充実」が3割超となっている。

問16 人口減少問題対策(%・複数回答)

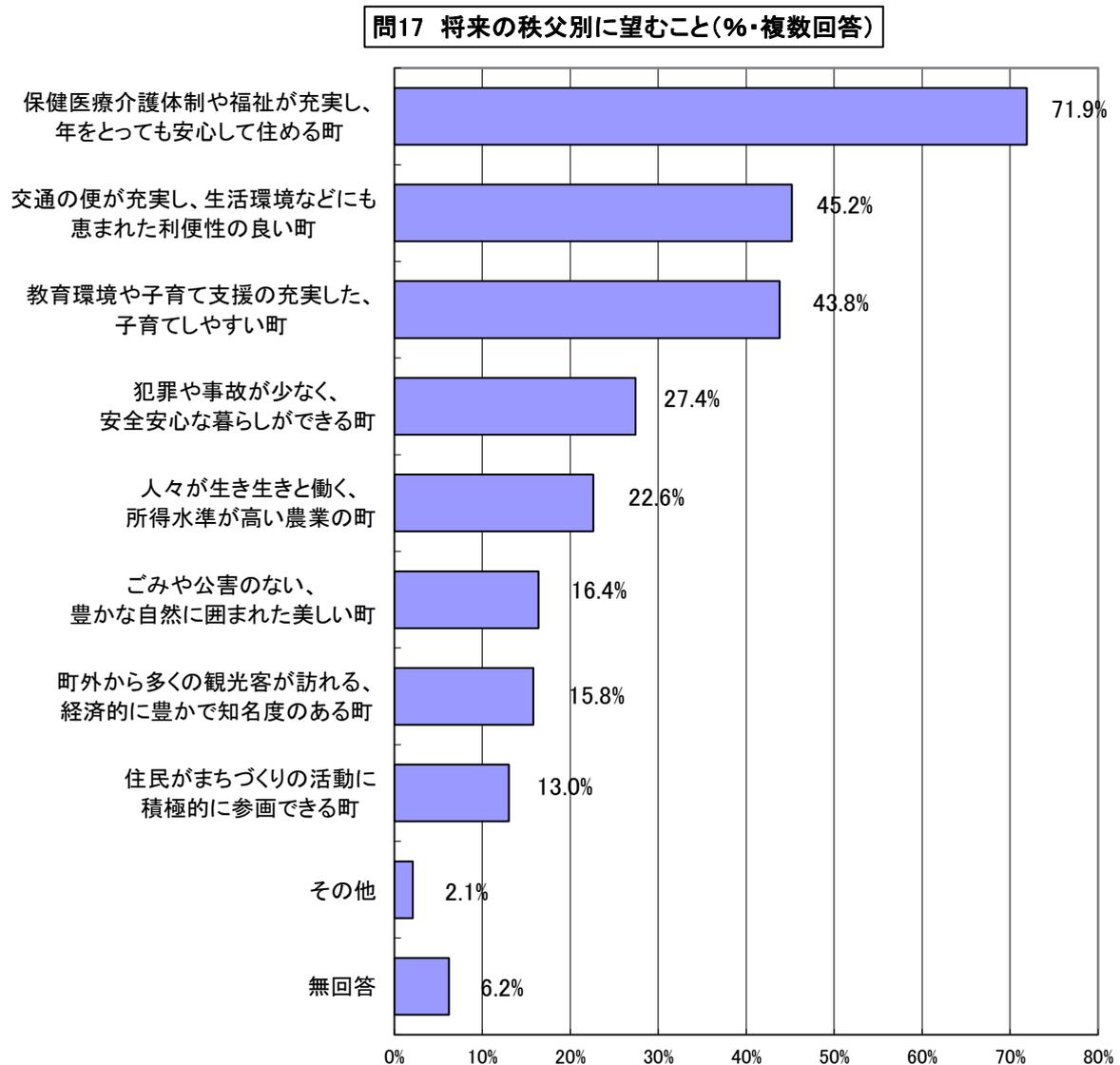


### 【その他】

- ・学校の少子化が進んでいるので近隣の市町との合同化やスポーツに対して共同する。
- ・高齢になったときの買い物、病院への通院問題をクリアすること。ようびをきめて、何人が乗れるワゴン車をだし、深川まで買い物に行けたり、旭川まで病院に行けるなど。
- ・お年寄りの交通利便性の向上、買い物支援等

## 問17 将来の秩父別がどのようになることを望みますか

「年を取っても安心して住める町」が7割を超え最も多く、ついで「利便性の良い町」、「子育てしやすい町」と続いている。



### 【その他】

- ・町民が町外から来た人の受け入れのつめたさの改善
- ・高齢者が車がなくても生活に困らない町
- ・人がたくさん集まるような町